

IV. 一般演題 口頭発表

化学系①：A会場（A11）

座長：齋藤弘明（日本大学）9:20～10:20

- A-01 μ - δ オピオイド受容体ヘテロダイマー選択的アゴニスト創出を志向した CYM51010 類縁体の合成
○山田脩馬¹、吉田遙香^{1,2}、野中美希²、宮野加奈子²、平山重人¹、伊藤謙之介¹、上園保仁²、藤井秀明¹（¹北里大院・薬、²慈恵医大）
- A-02 グレリン受容体のアロステリック部位に特異的に結合する化合物の創製
○石井圭¹、唐木文霞¹、宮野加奈子²、上園保仁²、藤井秀明¹（¹北里大院・薬、²慈恵医大・医）
- A-03 肝がん細胞に対して増殖抑制作用を示す非環式レチノイド誘導体の合成と活性評価
○水野司麻¹、利根川滉太²、茂福亮太²、矢嶋伊知朗²、須原義智¹
（¹芝浦工大院理工・創薬化学、²芝浦工大院理工・分子細胞毒性）
- A-04 抗ウイルス活性を有する新規ビタミン誘導体の研究
○本間大暉¹、岡本実佳²、馬場昌範²、須原義智¹
（¹芝浦工大システム理工、²鹿児島大ヒトレトロウイルス学共同研セ）
- A-05 抗ウイルス作用を有するビタミン K3 誘導体の合成
○小原沢諒人¹、廣田佳久²、須原義智¹（¹芝浦工大院理工・創薬化学、²芝浦工大院理工・生化学）

座長：叶直樹（星薬科大）10:20～11:32

- A-06 オオスズメバチに含まれるキチナーゼ阻害剤の探索と機能解析
○権来悟¹、萩原佳輔¹、笠原駿輔¹、木村将大¹、小山文隆¹、加藤学²、景山心悟²、生田智樹²、松野研司³、大野修¹（¹工学院大・先進工、²（株）山田養蜂場、³安田女子大・薬）
- A-07 海洋生物に由来する栄養飢餓選択的な細胞死誘導物質の単離と機能解析
○相田恵理香¹、岩崎有紘²、末永聖武²、松野研司³、大野修¹
（¹工学院大・先進工、²慶大・理工、³安田女子大・薬）
- A-08 エフラペプチン C および類縁体の固相全合成と機能解析
○林元棋、伊藤寛晃、井上将行（東大院・薬）
- A-09 バトラコトキシシン四環性骨格の効率的合成法の開発
○両角久寛、渡邊祐基、萩原浩一、井上将行（東大院・薬）
- A-10 (–)- Vetiverianine A の全合成研究
○永田泳柱、坂手恒公、益子智弥、加茂翔伍、杉田和幸（星薬大）
- A-11 (–)-Lamellodysidine A の全合成
○加茂翔伍、黒澤ひとみ、松澤彰信、杉田和幸（星薬大）

化学系②：B会場（A12）

座長：加茂翔伍（星薬科大）9:20～10:20

- B-01 超原子価ヨウ素反応剤によるオキサゾール合成を活用した PPAR リガンドの合成と遺伝子転写活性化能の評価

○石田寛明、岩本遊磨、本間翔也、伊藤俊将 (昭和薬大)

B-02 カルボン酸塩化物を用いたアシルホウ素化合物の新規触媒的合成

○中原正貴、倉林一樹、花屋賢悟、須貝威、東林修平 (慶應大・薬)

B-03 ホウ素化グリコシドを用いたアリール C-グリコシド類の新規合成法の開拓

○倉林一樹¹、花屋賢悟¹、須貝威¹、平井剛²、東林修平¹ (¹慶應大・薬、²九大院・薬)

B-04 三成分連結による 3-エノイルテトラミン酸誘導体の簡便合成法の開発 (1)

○吉木美穂^{1,2}、三村匠太郎³、小林容直³、李智成⁴、小山栞⁴、岩渕好治⁴、横江弘雅^{3,5}、叶直樹^{3,5} (¹星薬大院・薬、²全生園薬、³星薬大・薬、⁴東北大院・薬、⁵星薬大・医薬研)

B-05 三成分連結による 3-エノイルテトラミン酸誘導体の簡便合成法の開発 (2)

○小林容直¹、三村匠太郎¹、吉木美穂^{2,3}、李智成⁴、小山栞⁴、岩渕好治⁴、横江弘雅^{1,5}、叶直樹^{1,5} (¹星薬大・薬、²星薬大院・薬、³全生園薬、⁴東北大院・薬、⁵星薬大医薬研)

座長：齊藤毅 (筑波大学) 10:20~11:20

B-06 ミトコンドリア集積性の増強を目的としたトリプチセンサーペプチドハイブリッドの合成・設計及び抗がん活性評価

○新居真由香¹、山口晃平¹、横井健汰¹、青木伸^{1,2} (¹東京理大・薬、²東京理大総研)

B-07 2-Pyrrolone 型放射線防護剤の設計と合成及び作用メカニズム解析

○佐藤秀哉¹、越智進太郎²、氏田将平²、豊田美裕²、西山祐一²、多田佳寿美²、松下洋輔^{2,3}、出口雄一³、鈴木啓司³、田中義正³、植田弘師³、稲葉俊哉⁴、細井義夫⁵、森田明典²、青木伸^{1,6}
(¹東京理大薬、²徳島大、³長崎大院、⁴広島大原医研、⁵東北大院医、⁶東京理大総合研究院)

B-08 2-Phenylcyclopropylamine (PCPA) 誘導体の立体配置と lysine specific demethylase 1 (LSD1) 阻害活性の構造活性相関

○塩原彩音¹、田房峻¹、深澤隼介¹、橋本知子¹、橋本隼¹、大野修¹、丹羽英明²、佐藤心²、梅原崇史²、松野研司³ (¹工学院大先進工、²理研生命機能科学研究センター、³安田女大薬)

B-09 2-Alkylthio-oxazoline の加水分解開環体が IDO1 阻害活性を示した

熊澤美幸¹、○奥山陽介¹、福田美和²、手嶋真武¹、武田翔太¹、浅井章良³、滝川修⁴、宮地弘幸²、橋本知子¹、大野修¹、松野研司¹

(¹工学院大・先進工、²岡山大院・薬、³静岡県大院・薬、⁴国立長寿研)

B-10 PARG 阻害剤の合成および結合様式解明の検討

○水谷秀輝¹、橋本知子¹、小林寛幸¹、大野修¹、益谷美都子²、松野研司³

(¹工学院大先進工、²長崎大院医歯薬、³安田女大薬)

化学系③：C会場 (A21)

座長：辻耕平 (東京医科歯科大学) 9:20~10:20

C-01 エステル結合を有する ω -3 脂肪酸誘導体のがん細胞への影響の解明

○前田理花¹、東條敏史¹、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2} (¹東京理大・理工、²東京理大・総研)

C-02 置換基の修飾位置がポルフィリンのがん細胞集積性に与える影響の評価

○新内綾乃¹、東條敏史¹、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2} (¹東京理大・理工、²東京理大総研)

C-03 Thienyl 基を有するポルフィリンのがん細胞集積性の評価

- 山路茉央¹、東條敏史¹、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2} (東理大・理工¹、東理大総研²)
- C-04 プロトポルフィリンIXを用いた活性酸素センサーの構築
- 長谷川愛¹、東條敏史^{1,2}、近藤剛史^{1,2}、湯浅真^{1,2} (¹東理大・理工、²東理大総研)
- C-05 SARS-Cov-2を検出する蛍光ペプチドセンサーの開発
- 武藤有花¹、岡田智^{1,2}、中村浩之^{1,2} (¹東工大・生命理工、²東工大・化生研)

座長：東屋功 (東邦大学) 10:20~11:20

- C-06 PPII ヘリックスを模倣したヘリカルフォルダマーの合成
- 臧正、笠原彰友、尾谷優子、大和田智彦 (東大院・薬)
- C-07 Study on Conformation of Caged Linear Peptide With o-Nitrobenzyl group
- 黄芷涵、尾谷優子、大和田智彦 (東大院・薬)
- C-08 分子内ジスルフィド結合生成によるアミドのシス-トランス平衡の制御とジスルフィド環の立体構造解析
- 程雨荷、尾谷優子、大和田智彦 (東大院・薬)
- C-09 アミド結合の窒素上に保護基を有するペプチドの構造物性制御
- 宋舒禕、尾谷優子、大和田智彦 (東大院・薬)
- C-10 オルト-CH₃/CD₃識別に基づく同位体アトロプ異性分子の合成と検出
- 千田龍之介、三輪翔太、齋藤和哉、北川理 (芝浦工大・工)

化学系④：D会場 (A22)

座長：尾谷優子 (東京大学) 9:20~10:20

- D-01 エストロゲン受容体リガンドを指向した *B*-フェニルホスフィンボラン誘導体の構造展開
- 宮島友¹、谷内出友美²、影近弘之¹、藤井晋也¹ (¹医科歯科大・生材研、²東大・定量研)
- D-02 ホスフィンアミド誘導体の構造物性相関とPRアンタゴニスト活性
- 多田佳弘、川崎秀斗、影近弘之、藤井晋也 (医科歯科大・生材研)
- D-03 不整脈を引き起こす変異型 RyR2 新規阻害剤の開発
- 曾希¹、石田良典¹、呉林なごみ²、村山尚²、山本優雅¹、森修一¹、影近弘之¹
(¹医科歯科大・生材研、²順天堂大・医)
- D-04 DNA アプタマーを用いたエストロゲン受容体分解誘導剤の開発
- 辻村はるな^{1,2}、辻巖一郎²、大岡伸通²、井上貴雄²、内藤幹彦³、出水庸介^{1,2,4}
(¹横浜市大院生、²国立衛研、³東大院・薬、⁴岡大院・薬)
- D-05 E3 リガンドに着目した H-PGDS 分解誘導剤の構造活性相関研究
- 大澤陽^{1,2}、黒原崇²、柴田識人²、有竹浩介³、内藤幹彦⁴、出水庸介^{1,2,5}
(¹岡山大院・医歯薬、²国立衛研、³第一薬大、⁴東大院・薬、⁵横浜市大院生)

座長：石田寛明 (昭和薬科大学) 10:20~11:20

- D-06 HIV 侵入阻害剤を目指した PEG 化 CD4 ミミックの創生
- 三浦裕太郎¹、小早川拓也¹、辻耕平¹、紺野奇重¹、大橋南美¹、増田亜美¹、桑田岳夫²、吉村和久³、三浦智行⁴、原田恵嘉⁵、松下修三²、玉村啓和¹

(¹東京医歯大・生材研、²熊本大・ヒトレトロウイルス学研セ、³都健康安全研セ、
⁴京都大・ウイルス・再生研、⁵感染研・エイズ研セ)

- D-07 HIV-1 カプシドタンパク質の構造を基にした低分子型抗 HIV-1 剤の構造活性相関研究
○岸原佑樹¹、小早川拓也¹、横山勝²、倉上真樹¹、大西立人¹、朴清香¹、小谷治²、辻耕平¹、村上努³、佐藤裕徳²、玉村啓和¹
(¹医科歯科大・生材研、²感染研・病原体ゲノム解析研究セ、³感染研・エイズ研究セ)
- D-08 Design and synthesis of selective GPR55 agonists based on LysoPS derivatives
○梁圓媛、上水明治、尾谷優子、青木淳賢、大和田智彦 (東大院・薬)
- D-09 リゾホスファチジルセリン受容体 P2Y10 アンタゴニストのデザインと活性
○大地勝利、中村翔、上水明治、尾谷優子、青木淳賢、大和田智彦 (東大院・薬)
- D-10 脂肪酸 EPA の立体配座を制御した PPAR α アゴニストの創製
○徳良真¹、橘敬祐³、Mian Wu¹、鎌田祥太郎²、石井功²、尾谷優子¹、大和田智彦¹
(¹東大院・薬、²昭和薬大、³阪大院・薬)

化学系⑤：E会場 (B21)

座長： 波多江典之 (横浜薬科大学) 9:20~10:20

- E-01 エラジタンニンアナログの合成と α -グルコシダーゼ阻害活性
○今城優美霞、町田翔太、齋藤弘明、内山武人 (日本大薬)
- E-02 クレンブテロール代謝物の合成研究
○持田麻美子、高橋里沙、齋藤弘明、宮本葵、青山隆彦、松本宜明、内山武人 (日本大・薬)
- E-03 リネゾリド代謝物の合成研究
○井上夏、後藤拓海、齋藤弘明、辻泰弘、内山武人 (日本大薬)
- E-04 14-アミノナルトレキソン骨格の新奇転位反応と誘導体の薬理評価
○前田健汰¹、徳田明久²、梶野景太¹、斉藤毅²、長瀬博^{1,3}、杳村憲樹^{1,2,3}
(¹筑波大院数理解物質、²筑波大院人間総合、³筑波大睡眠研究機構(WPI-IIIS))
- E-05 2-メチルテトラリン誘導体を用いたオレキシン受容体作動薬の開発
○雨澤真櫻¹、斉藤毅²、岡田卓大¹、大下隆一郎¹、山本直司²、南雲康行²、杳村憲樹^{1,2}、入鹿山容子²、石川有紀子²、柳沢正史²、長瀬博¹ (¹筑波大・数理解物質、²筑波大・睡眠研究機構)

座長： 原田真至 (千葉大学) 10:20~11:32

- E-06 Pd(TFA)₂を用いたトリアリールオキサゾールの合成
○中山拓、藤木沙也佳、氷川英正、吉川晶子、東屋功 (東邦大・薬)
- E-07 Huisgen 環化反応を用いた三環性クマリンの合成法の確立とその応用
○関根美夢、石田寛明、伊藤俊将 (昭和薬大)
- E-08 エチニルスルホンアミドは金属フリーHuisgen 環化反応が進行する
○京谷竜宏¹、石田寛明¹、齋藤俊昭²、伊藤俊将¹ (¹昭和薬大、²日本薬大)
- E-09 パラジウム触媒を用いたアレン-アルデヒド付加・環化反応の適用範囲の拡大
塚本裕一、○亀森勇人 (横浜薬大・薬)
- E-10 双性イオン型 π -アリルパラジウム種を用いたイソオキサゾールの脱芳香族化を伴う

触媒的不斉環化付加反応の開発

○伊藤暖¹、盛田大輝^{1,2}、中村浩之^{1,2} (1東工大生命理工、²東工大化生研)

E-11 スルホンアミド誘導体を用いたジアステレオ選択的ダブルスピロ環化反応

○中島諒¹、横江弘雅^{1,2}、下田実穂¹、叶直樹^{1,2} (1星薬大・薬、²星薬大医薬研)

化学系⑥：F会場 (B22)

座長： 大多和正樹 (北里大学) 9:20~10:20

F-01 α, β -不飽和カルボン酸への直截的光 1,4-付加および固相触媒の開発

○梅沢岬¹、川瀬美咲¹、小室拓海¹、奥野義規¹、佐藤康夫¹、青木昭二²、鰐淵清史¹、庄司満¹
(¹横浜薬大、²(株)イー・シー・イー)

F-02 可視光を用いるアリル位の新規酸化的 γ -ラクトン化に関する研究

○山口舞佳、大塚征志、鰐淵清史、庄司満 (横浜薬大)

F-03 DASTを用いるオキシム転位によるアミド合成

○鹿一璞、笠原彰友、藤野智大、尾谷優子、大和田智彦 (東大院・薬)

F-04 A novel amide formation method by the use of potassium cyanate under acidic conditions

○周滢、笠原彰友、尾谷優子、大和田智彦 (東大院・薬)

F-05 オレフィンのラクトン構築型トリクロロメチル化反応の開発

○小山凌太郎¹、増田龍哉¹、荒井秀^{1,2}、原田真至^{1,2} (1千葉大院・薬、²千葉大 MCRC)

座長： 塚本裕一 (横浜薬科大学) 10:20~11:32

F-06 マンガン錯体によるジアステレオ選択的酸素付加型アミノペルオキシ化 反応の開発

○成島悠樹、山本大介、平野一成、曾我誠之、安齋広将、牧野一石 (北里大・薬)

F-07 位置選択的なヨード環化反応の開発

○平井潤也¹、飯塚理駆斗²、李大葵¹、長光亨¹ (1北里大院・薬、²北里大・理)

F-08 イサトゲンへの位置選択的シアノ化を利用する四置換炭素の構築

○酒井涼花¹、原田真至^{2,3}、荒井秀^{2,3} (1千葉大・薬、²千葉大院・薬、³千葉大 MCRC)

F-09 インドリン2,3位への連続四置換炭素の新規構築法の開発

○石原菜々花¹、原田真至^{1,2}、荒井秀^{1,2} (1千葉大院・薬、²千葉大・MCRC)

F-10 光学活性炭素-窒素軸不斉スルホンアミドを利用した不斉転写型ポーソンカンド反応

○笠原涼平、豊田竜也、深澤颯汰、北川理 (芝浦工大・工)

F-11 炭素-窒素軸不斉チオラクタムの合成と不斉反応への応用

○坂上達紀、松井綾佑、北川理 (芝浦工大・工)

物理系：G会場 (B23)

座長： 深水啓朗 (明治薬科大学) 9:20~10:20

G-01 リポプレックス生成過程における脂質二重膜に及ぼす Cholesterol の影響

○田中溪¹、佐々木香純¹、古石誉之¹、福澤薫^{1,2}、米持悦生¹ (1星薬大、²阪大院・薬)

G-02 セラミドの立体配置が角層細胞間脂質の構造変化に及ぼす影響

○荒井梨絵¹、古石誉之¹、福澤薫²、米持悦生¹、小幡誉子¹、石田賢哉²
(¹星薬大院、²大阪大院薬、³高砂香料工業)

G-03 溶液 ¹H NMR 測定によるリポソーム界面へ修飾した PEG 鎖の評価

○仲村美咲、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一 (千葉大院・薬)

G-04 高温固体 ¹H NMR 分光法による薬物/polymer 間相互作用の評価

○金子舜、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一 (千葉大院・薬)

G-05 Acetaminophen 封入が poloxamer 407 のゲル形成に及ぼす影響の評価

○佐久間文絵、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一 (千葉大院・薬)

座長：米持悦生 (星薬科大学) 10:20~11:32

G-06 中分子医薬の経皮送達を目指した外用エアゾール剤の開発

○繁永歩実¹、中島潮音¹、板倉祥子¹、土黒一郎²、杉林堅次³、藤堂浩明¹

(¹城西大薬、²株式会社ファルネックス、³城西国際大・薬)

G-07 透過型低波数ラマン分光法を用いた非晶質錠剤中結晶の定量

○笠原礼央、井上元基、深水啓朗 (明治薬科大)

G-08 キラルイミダゾリジノン環を有する LC-MS/MS 用カルボン酸誘導体化試薬による飲料中有機酸の分析

○海野真帆、坂本達弥、小野里磨優、福島健 (東邦大・薬)

G-09 LC/MS/MS を用いた糖尿病マウスの脳内チオール化合物の測定

○山縣宗平、松本仁見、加藤良規、岩崎雄介 (星薬大)

G-10 D-アミノ酸投与マウスの光学異性体アミノ酸の測定

○安田伊吹、日暮航希、矢部智也、加藤良規、岩崎雄介 (星薬大)

G-11 カルノシン酸の摂取が脳内神経伝達物質の濃度に与える影響

○松本仁見、蒲 駿平、加藤良規、岩崎雄介 (星薬大)

生物系①：L会場 (A43)

座長：三浦伸彦 (横浜薬科大学) 9:20~10:20

L-01 CADASIL 変異型 NOTCH3 凝集に対する糖転移酵素 Fringe の影響の解析

○益子大樹¹、鈴木翔大²、伊藤素行² (¹千葉大・薬、²千葉大院・薬)

L-02 モデルゼブラフィッシュの病態解析による血管性認知症 CADASIL の発症機構の解明

○王林思帆¹、古川健吾²、楊鵬²、溝口貴正²、伊藤素行² (¹千葉大・薬、²千葉大院・薬)

L-03 ゼブラフィッシュ脳梗塞モデルを用いた高脂肪食肥満による脳機能低下と脳梗塞病態に与える影響の解析

○福永美沙¹、南唯菜¹、大北真由¹、溝口貴正²、伊藤素行² (¹千葉大・薬、²千葉大院・薬)

L-04 宮古ビデンス・ピローサは筋萎縮性側索硬化症モデルマウスの M1 型ミクログリアの増加を選択的に抑制する

○鶴田こむぎ、宮岸寛子、設楽尊人、廣瀬大、小菅康弘 (日本大・薬)

L-05 Vgll3 と Taz は協調的に遅筋と速筋の分化を制御する

○堀直人、鈴木孝行、荒木拓郎、石川千夏、南須原杏律、高野博之、山口憲孝（千葉大院・薬）

座長：伊藤素行（千葉大学） 10:32～11:32

- L-06 炎症性サイトカイン IL-6 産生における Dynamin の関与
○竹中洋平、田中智博、北畠和己、青木伸、月本光俊（東京理大院・薬）
- L-07 がん細胞の放射線抵抗性への終末糖化生成物受容体（RAGE）の関与
○船津綾乃、野村大地、北畠和己、田沼靖一、月本光俊（東京理大・薬）
- L-08 ヒト神経膠芽腫細胞における放射線誘導の細胞運動能亢進への RAGE の関与
○關紘夢、北畠和己、田沼靖一、月本光俊（東京理大院・薬）
- L-09 Toll-like receptor（TLR）刺激誘発 IL-6 産生に対する P2Y12 受容体遮断薬の抑制効果
○山部高央、北畠和己、月本光俊（東京理大・薬）
- L-10 X線による神経系細胞における酸化ストレスの抑制
○新田友香、中村祐輝、梅田知伸、小林芳子、加藤真介（横浜薬科学）

生物系②：M会場（B41）

座長：小林恒雄（星薬科大学） 9:20～10:20

- M-01 HDL が好中球細胞外トラップ形成に与える影響
○大日方瞳、小濱孝士、渡邊雄一、牧山智彦、板部洋之（昭和大・薬）
- M-02 水晶体における Piezo1 チャネルの発現様式の解析
○土岐友理¹、中澤洋介¹、Rosica Petrova²、Paul Donaldson²、多胡めぐみ¹
(¹慶應大・薬、²The Univ. of Auckland)
- M-03 エリスロポエチン（Epo）による STAT5 非依存的なシグナル伝達経路の解析
○武田健吾¹、多胡憲治²、上田史仁³、多胡めぐみ^{1,3} (¹慶應大院・薬、²自治医大・医、慶応大・薬)
- M-04 コーヒー及び含有成分ピロカテコールによる神経炎症の抑制効果
○村田大典¹、森脇康博¹、多胡憲治²、中澤洋介¹、田村悦臣¹、多胡めぐみ¹
(¹慶應大・薬、²自治医大・医)
- M-05 転写因子 STAT3 のリン酸化を介した未分化大細胞リンパ腫発症機序の解析
○Lin Xin¹、向來朗¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹ (¹慶應大・薬、²自治医大・医)

座長：多胡めぐみ（慶應義塾大学） 10:20～11:08

- M-06 ヒト大腸がん細胞における 5-Fluorouracil 耐性機構の解明-核酸代謝経路の依存性について
○中山滉一朗、西澤菜々、倉坂知夏、佐藤聡（東京理大・薬）
- M-07 Poly(ADP-ribose)glycohydrolase 阻害剤 PDD0017273 耐性ヒト大腸がん HCT116 細胞の耐性機構の解明
○津田楓、倉坂知夏、荻野暢子、佐藤聡（東京理大・薬）
- M-08 ネクローシスとアポトーシスの細胞死モードのスイッチングに關与する長鎖非コード RNA の探索と機能解析
○三好哲也¹、綿矢有佑²、金恵淑²、佐藤聡¹ (¹東京理大薬、²岡山大薬)
- M-09 AMPK 活性上昇による Carvedilol の糖尿病性血管障害への効果

○奥平奏美、田口久美子、松本貴之、小林恒雄（星薬大）

生物系③：N会場（B42）

座長：榛葉繁紀（日本大学）9:20～10:20

N-01 マクロファージに発現するプロスタサイクリン合成酵素の機能解析

○山口慧士、落合翔、桑田浩、原俊太郎（昭和大・薬）

N-02 ヒト *EZH2* 遺伝子プロモーターの制御メカニズムの解析

○高窪怜史、荻野暢子、内海文彰（東京理大・薬）

N-03 ヒト *HDAC10* 遺伝子プロモーターの酪酸応答エレメントの解析

○高岡俊典、荻野暢子、内海文彰（東京理大・薬）

N-04 ヒト *CHEK2* 遺伝子プロモーターの薬物応答性の解析

○野瀬真理枝、荻野暢子、内海文彰（東京理大・薬）

N-05 ウイルス変異が核酸増幅反応に与える影響の解析

○山本真梨子^{1,2}、築茂由則¹、鈴木孝昌¹、野口耕司²、井上貴雄¹

（¹国立衛研・遺伝子医薬部、²東京理大院・薬）

座長：落合翔（昭和大学）10:20～11:20

N-06 マクロファージにおける Ah receptor (AhR) の欠損は肥満を増長する

○鈴木彰悟、児嶋朝香、和田平、榛葉繁紀（日本大・薬）

N-07 AhR による NASH の肝線維化制御機構の解明と分子標的治療への応用

○宮内俊幸、坂井晶紀、田辺真夕、和田平、榛葉繁紀（日本大・薬）

N-08 細胞毒性を示す天然由来毒素 APIT の腫瘍集積性の検討

○遠藤祐里¹、Alena Wolkersdorfer²、Lorenz Meinel²、加藤良規¹

（¹星薬大、²University of Würzburg）

N-09 ラット妊娠前の estrogen 作用不全が妊娠後期の血圧および胎仔成長に与える影響

○原田裕香子、西村友宏、野口幸希、登美斉俊（慶應大・薬）

N-10 マウス胎盤における PGE₂ 受容体サブタイプの発現評価

○高橋駿太¹、稲垣舞²、野口幸希¹、西村友宏¹、登美斉俊¹（¹慶應大・薬、²徳島大・薬）

医療系①：I会場（B33）

座長：千葉康司（横浜薬科大学）9:20～9:56

I-01 治療薬曝露が濾胞性リンパ腫の P-糖タンパク質および薬物耐性に与える影響

○林知亜樹¹、水口勇輝¹、矢野健太郎¹、岩瀬由美子¹、萩原琢男²、栗原隆¹

（¹横浜薬大、²高崎健康福祉大・薬）

I-02 中空型マイクロニードルにて皮内投与した中分子薬物の体内動態評価

○稲村一也¹、茂木俊作¹、二木美香¹、板倉祥子¹、杉林堅次^{1,2}、藤堂浩明¹

（¹城西大・薬、²城西国際大）

I-03 電気浸透流ポンプを用いた薬物の腫瘍内微量投与による抗腫瘍効果

○伊藤亜悠¹、板倉祥子¹、橋本美優¹、中村秀剛²、平藤衛²、杉林堅次^{1,3}
(¹城西大・薬、²アットドウス株式会社、³城西国際大)

座長：藤堂浩明（城西大学） 9:56～10:44

- I-04 脳への mRNA 送達における超音波とマイクロバブルの有用性評価
○橋本桃¹、小俣大樹¹、宗像理紗¹、鈴木悠乃¹、田中浩揮²、秋田英万³、吉岡靖雄^{4,5}、吉澤晋⁶、梅村晋一郎⁷、丸山一雄^{1,8}、鈴木亮^{1,8} (¹帝京大・薬、²千葉大院・薬、³東北大院・薬、⁴阪大微研、⁵阪大院・薬、⁶東北大院・工、⁷東北大院・医工、⁸帝京大先端総研)
- I-05 甘草由来ナノ粒子による樹状細胞の成熟化評価とメカニズム解析
○有本茉由¹、鈴木悠乃¹、宗像理紗¹、小俣大樹¹、小泉桂一²、鈴木亮^{1,3}
(¹帝京大・薬、²富山大和漢研、³帝京大先端総研)
- I-06 高コレステロール食による CYP3A4 発現誘導
○峰岸元気¹、小林由佳¹、藤倉茉優¹、香月康宏^{2,3}、小林カオル¹
(¹明薬大、²鳥取大・院医、³鳥取大・染色体工学研セ)
- I-07 脂溶性薬物の細胞膜透過性に対する糖鎖合成酵素阻害剤の効果
○岸本久直、鈴木彩佳、宮崎歌織、樋口慧、井上勝央（東京薬科大・薬）

座長：井上勝央（東京薬科大学） 10:44～11:32

- I-08 クラスターガウスニュートン法によるリナグリプチンの体内動態解析
○中村亮、吉門崇、原野華帆、榎本和輝、千葉康司（横浜薬大）
- I-09 既報母集団薬物動態モデルを用いたアルベカシンの小児用量の検討
○小林洋介¹、岡田賢二¹、草野歩²、花井雄貴³、小杉隆祥⁴、吉門崇¹、岡美佳子¹、千葉康司¹
(¹横浜薬大、²東邦大大森病院薬、³東邦大・薬、⁴防衛医大病院薬)
- I-10 DHA・EPA 高含有魚油の摂取が睡眠に及ぼす影響：
プラセボ対照ランダム化二重盲検並行群間比較試験
○横井香里^{1,2}、柳本賢一¹、速水耕介² (¹日本水産株式会社、²横浜薬科大・薬)
- I-11 「薬機法改正」に基づく地域連携薬局認定に至るまでの当薬局の取り組みについて
○藤波聖佳、児玉真由美（G&G・グラム）

医療系②：J会場（B34）

座長：服部喜之（星薬科大学） 9:20～9:56

- J-01 NMDA 誘発網膜神経障害に対する炎症性サイトカイン発現抑制を介したゾニサミドの保護作用
○井上慶貴、畠山倫未、曾根秀子、速水耕介、住野彰英（横浜薬大・薬）
- J-02 ヒト神経膠芽腫細胞における papaverine の抗がん作用機序の解明
○江波戸里奈¹、岡本諒¹、稲田愛¹、田沼靖一²、佐藤聡¹ (¹東京理大・薬、²明海大・歯)
- J-03 ヒト神経膠芽腫細胞のテモゾロミド耐性機構の解明
○岡本諒、戸谷滉希、佐藤聡（東京理大・薬）

座長：根岸洋一（東京薬科大学） 9:56～10:44

- J-04 正電荷リポソーム組成の正電荷脂質とリン脂質の組み合わせが及ぼす siRNA リポプレックス投与後の培養細胞およびマウス肺での遺伝子発現抑制効果の影響
○佐川彩音¹、唐敏¹、井上和香¹、富田果那¹、鳥居里美¹、山岸令旺¹、尾崎恵一²、服部喜之¹
(¹星薬大・分子薬剤学、²同志社女大薬・病態分子制御学)
- J-05 脂質エタノール溶液を用いた修正エタノール注入法により調製した siRNA リポプレックス投与後のがん細胞およびマウス肺での遺伝子発現抑制効果
○唐敏¹、齋藤大夢¹、中村香葉¹、山中彩加¹、尾崎恵一²、服部喜之¹
(¹星薬大・分子薬剤学、²同志社女大薬・病態分子制御学)
- J-06 健常および担がんマウスにおける細胞外小胞の体内動態の解明
○斯真田瑞穂、金井舞、佐々木大輔、草森浩輔、西川元也(東京理大・薬)
- J-07 アトピー性皮膚炎マウス皮膚における cyclosporine A 含有 PLGA-PEG-PLGA ナノ粒子の浸透性
○藤原成海¹、竹内一成²、草森浩輔¹、西川元也¹(¹東京理大・薬、²城西国際大・薬)

座長：西川元也(東京理科大学) 10:44~11:20

- J-08 筋ターゲティング型 mRNA 封入脂質ナノ粒子の開発
○佐々木愛理¹、板谷祐紀²、濱田圭祐^{1,2}、中島康介^{1,2}、三浦剛^{1,2}、吉川大和^{1,2}、濱野展人^{1,2}、高橋葉子^{1,2}、田中浩揮³、秋田英万⁴、野水基義^{1,2}、根岸洋一^{1,2}
(¹東薬科大院・薬、²東京薬科大・薬、³千葉大院・薬、⁴東北大院・薬)
- J-09 抗体医薬搭載ナノバブルと治療用超音波を併用した抗体デリバリーシステムの開発
○矢野結友¹、春田憲慎²、室賀大和²、濱野展人^{1,2}、吉川大和^{1,2}、高橋葉子^{1,2}、野水基義^{1,2}、鈴木亮³、丸山一雄³、根岸洋一^{1,2}(¹東京薬大院・薬、²東京薬大・薬、³帝京大・薬)
- J-10 エナラプリルマレイン酸塩を用いた口腔内崩壊フィルムの調製
○小達萌未、井上元基、深水啓朗(明治薬大)